C・C・C

Create　Communicate　Challenge

令和 5年 9月22日(金)
国立市立国立第三中学校
第1学年 学年通信 No.11

合唱コンクールが終わりました。

9月15日（金）は「たましんRISURUホール」で合唱コンクールが行われました。普段は滅多に立つことのない大ホールのステージで、興奮と緊張が最高になった状態で、一生懸命合唱に取り組んだのではないでしょうか。様々な思いをもちつつ最大限のパフォーマンスができたことは、みなさんの成長につながったと思います。全てのクラスの合唱に拍手を送りたいと思います。

上級生の合唱を聴きどんなことを思いましたか。

3年生の歌声は圧巻でした。強弱のつけ方、想いを歌に乗せる力、クラスメイトを信じて歌う姿。私は、最上級生の「大人の合唱」を聞くことができたあなたたちを幸せだと感じました。1年後・2年後、あなたたちの成熟した合唱を聞けることを今から楽しみにしています。

今回は、夏休み前から
継続して練習に取り組み、
クラスメイトのためにピアノ
を弾いた伴奏者に注目
しました。

講評より

特別審査員として来場くださった、国立音楽大学教授 酒井美恵子先生の講評を掲載します。

１年１組です。１組の声から合唱コンクールが始まりました。間をあけて立っていて、きっと不安がいっぱいだったと思うけれど、勇気を持って１組が歌い始めてくれたから、この合唱コンクールの大成功につながったのではないだろうかと思っていました。

落ち着いて歌い始めて、それぞれのパートが正しく歌って、綺麗なハーモニーを生み出して、曲想に応じた表現がとても上手でした。

自由曲は空をイメージする伸びやかな歌声から始まり、引き込まれました。よく聞き合って練習を重ねたと思います。作品の良さを１組の歌声で味わうことができました。

１年2組です。前奏からみんなが音楽を感じているように私は感じました。フレーズもよく揃っていて、よく合わせて表現をしている。そして、盛り上がるところの表現がホールに響いていました。大切にした言葉もよく伝わってきました。

自由曲は、本番って何が起こるかわからなくて、ちょっとパラパラパラとなりそうなところもあったけれども、全く問題なく、さらに気持ちがひとつになったのではないかというくらい、伸びやかで一層美しい合唱になりました。

「盛り上がるところの伝え方が本当に上手なクラスだな」と、課題曲でも自由曲でも思いました。

１年3組です。休符が重要な曲なのだけど、息を吸うところとかフレーズの切り方がぴったりで、とてもまとまりのある合唱でした。

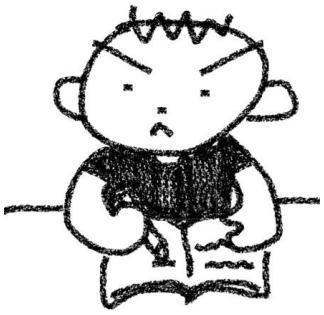
歌詞の内容がよく伝わってきました。自由曲は盛り上がるところに向かった、すごくとても大切に歌うところがいいな、盛り上がりの伝え方がとても綺麗だなと思いました。

今も、そしてこれからも「輝いていく皆さんだろう」という風に思いながら聞きました。

９月２６日・２７日は中間考査

来週はすぐに中間考査になります。

週末にしっかり家庭学習に取り組めるよう、勉強道具の持ち帰り忘れがないようにしましょう。



	9/26（火） 特別時程	9/27（水） 特別時程
1	社会	国語
2	数学	理科
3	英語	総合
4		道徳
	給食なし下校	給食後 後期生徒委員会